

いのちの価値はプライスレス

先日、京都の高級ホテルで開かれた会合に参加する機会がありました。会合は日帰りだったのですが、もし宿泊したらいくらくらいかかるのかと思って調べてみると、一番お安いお部屋が素泊まりで何と33万円！ ひえ〜ビックリ。ちなみにスイートルームは一泊120万円！ どんな人が泊まるのかと思ったら9割が海外からのお客様だそうです。

先月の初めに東京に出張した際街を歩いていると盆栽の展示販売が行われていました。ちよつと立ち寄ってみると、どれも丹精を込めて育てられた立派な盆栽です。さてさておいしくらいするのかなあ・・・と思って覗いてみると「げげ！ 385万円！」きやう、もしカバンが引っかけかけて植木鉢をひっくり返してしまったり、枝を折ってしまったりしたらエライこつちや。そそくさとその場を離れました。

私からすると、盆栽ひとつ385万



円とか、絶対に買いません(買えません！)が、この立派な盆栽に、値段に関係なく価値を見出す人がいるのでしょう。私たちは値段を見てモノの価値を判断しがちですが、一人ひとりにとって大切なものは、値段ではないのだと思います。



職場の友人で、命に関わる大きな病気をした人がいます。病院のベッドの上で長い間チューブに繋がれて、いつ命が尽きるのか不安な日々を過ごしたといえます。やがて、ご本人の頑張りや色々な周りの人のサポートによって無事に回復された時、ふと病院の売場でモナカのアイスクリームを買って食べたそうです。口の中に冷たくて甘い香りが広がり、身体中に染み渡るような感覚に、思わず「生きていく！」と感じ、そして「いただいた命を大切に生きてよう」と思ったのだそうです。友人にとっては150円のアイスクリームが、値段では量ることのできない大切な価値を持っていたのでした。



私たちは、普段の生活の中で、喜んだり悲しんだり、怒ったり泣いたりしていますが、何よりも、いただいた「いのち」を見つめて精一杯生きることの大切さを、あらためて噛み締めたと思います。なむあみだぶつ。(住職)

7月(文月)

一九日(日) お講 十一時

二三日(水) 鑽仰会特別布教

9時〜12時

豊栄の郷文化ホール
ぜひご参加を！

くらしの仏教用語

懐石(かいせき)

懐石料理といえば、大切な時にお客様をもてなす和食のフルコースというイメージがありますね。もともとは茶の湯でお茶を立てる前にいただく軽食のことでした。

昔、禅の修行僧が、温めた石を布に包んで腹に入れ、餓えや寒さを防いだそうです。これを薬石(やくせき)と言います。それは修行僧が健康を保つための薬という意味なのです。

このことから、温めた石を懐(ふところ)に入れて腹を温める程度に、腹を満たす料理という意味で、「懐石」とよばれるようになりました。ですから、懐石料理とは、旬の食材を活かした素朴で心のこもった「おもてなし」の料理なのです。

懐石料理は、目と香りと口で味わうとともに、親しい人や久しぶりに会う人と歓談したり、法事では、亡くなった懐かしい人を偲びながら、時間を共にしたりする会席でもあります。もちろん呑み過ぎには注意しましょうね。



秋季永代経・平和の集い お勤めしました

6月28日、覚浄寺の秋季永代経と平和の集いをお勤めしました。永代経は先立って往かれた方々を偲び阿弥陀さまのみ教えに出会わせていただく縁。法要の表白(ひょうびやく)では、多くの方々によりお念仏が相続されて日々の生活の中で脈々と受け継がれてきたこと、しかし先の大戦では安食西からも多くの方が出兵され、20数名の方が若くしてお亡くなりになられたことを受けて、私たちが戦争で命を亡くされた方々に思うとともに、再び戦争を起こすことのないよう平和を願いつつ、お念仏の生活を送ることを申し上げました。

なお、今年は隣寺と同日の開催となり、みなさまにご迷惑をおかけしました。両寺が協力しお念仏を相続していきたいと思えます。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



世界お寺めぐり

三室戸寺（宇治市）

紫陽花（あじさい）で有名な宇治の三室戸寺（みむろとじ）へお参りしてきました。お寺の近くの道路は時々通っていたので、これまでも、お寺の看板には気づいていたのですが、ようやくお参りすることができました。

三室戸寺は修験宗（しゅげんしゅう）の別格本山で、ご本尊は千手観音菩薩の秘仏です。本堂の隣に小さなお堂があって、それが親鸞聖人のお父様（日野有範）のお墓だと伝えられています。親鸞聖人の娘の覚信尼様が祖父の有範の墓上に阿弥陀堂を建てたと伝えられているそうで、「四十八願寺」という扁額（へんがく）が掲げられて

いました。

さて、お花の方といえば紫陽花だけでなく、蓮の花が見頃になっていて、まさにお浄土の姿を表したかのような境内には、たくさんの方がお参りや写真撮影に訪れていました。海外から来られている方も多いようです。

本堂から坂を下っていくと、谷筋にさまざまな色や形の紫陽花が咲き誇っています。青い花、白い花、ピンクの花など、青色青光、赤色赤光、白色白光とはこのことか、と思わず手を合わせました。雨の降った後は、もつとみずみずしく美しいことでしょう。

三室戸寺は、他にもツツジや枝垂れ梅など、季節によって参拝者を癒してくれる花がたくさん咲くそうです。



住職の星空案内



梅雨の鬱陶しいお天気が続きますね。梅雨の晴れ間は、雨で空気中のチリが洗い流されるので、とても透き通って星がよく見えることがあります。そんな夜には、もしかすると天の川が見えるかもしれません。天の川は、たくさんの星が集まっている場所です。その星々に照らされて、宇宙空間のガスがカラフルに輝いているのが星雲とよばれる天体です。

右の写真で大きく写っている天体はラグーン星雲と呼ばれています。ラグーンとは潮が引いた海辺のこと。赤い輝きの真ん中を、水が流れた後のような筋が見えることから名付けられました。この雲のようなガスが、やがて収縮して、新しい星が誕生します。とはいえ、それは気の遠くなるような未来のことです。

くいずクイズ QUIZ

問いに当てはまる高僧の名前を左の枠の番号から選んでください。

天台宗の開祖。
伝教大師と呼ばれる。

真言宗の開祖。弘法大師。
高野山に道場を開いた。

念仏による救い。親鸞聖人が「よき人」と慕った。

他力本願を説く。
浄土真宗の宗祖。

法華経第一。南無妙法蓮華経を唱えよと説く。

浄土真宗を広めた。
本願寺派第8世の宗主。

中国から戒律を伝えた。
4度目の挑戦で日本に到着。

- ① 鑑真
- ② 最澄
- ③ 空海
- ④ 法然
- ⑤ 親鸞
- ⑥ 日蓮
- ⑦ 蓮如

先月号の答え

